

2025年10月1日

[配信枚数3枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

**経済学部附属史料館 令和7年度企画展
花押×データサイエンス
—国宝「菅浦文書」への挑戦— を開催**

滋賀大学経済学部附属史料館で保管されている国宝「菅浦文書」は、2021年度より科学研究費助成事業「中近世「菅浦文書」の公開促進と史料学的・文理融合的研究」の採択を受け、科研グループによる共同研究を行ってきました。

今年度はその研究事業の最終年度であり、また史料館が独立棟として開館してから30年目という節目の年にあたります。これを記念して、企画展「花押×データサイエンス—国宝「菅浦文書」への挑戦—」を開催します。

つきましては、下記の日程で報道関係者の皆様を対象にした説明会を開催します。

【報道関係者向け展示説明会】

日 時：2025年10月14日（火）10時30分～

会 場：経済学部附属史料館1階展示室

滋賀大学彦根キャンパス（彦根市馬場1-1-1）

【経済学部附属史料館企画展「花押×データサイエンス—国宝「菅浦文書」への挑戦—】

開催期間：2025年10月14日（火）～11月14日（金）

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：土・日・祝日（11月1日（土）は開館）

会 場：経済学部附属史料館1階展示室

※ギャラリートーク・関連講演会あり。詳しくは報道関係者向け展示説明会時にご案内します。

[概要]

滋賀大学経済学部附属史料館のほこる古文書と滋賀大学が力を入れるデータサイエンス。古文書の理解にデータサイエンスの力を利用できないか。当展はその最初の試みを一般公開するものです。花押とは10世紀頃に始まり、現在まで続くサインの一種で、国宝「菅浦文書」には879個の花押が記されています。その内の75個は花押のみが記されており署名した人物が不明です。これらの花押を誰が署名したのか特定することも共同研究の課題でした。そこで「菅浦文書」に記された花押をすべてデータ化し、参考データとして東京大学史料編纂所が公開している花押データベース「花押彙纂」の提供も受け、この課題へのアプローチを試みました。どの花押同士が似ているのか、また、これまで人名不詳だった花押が誰のものを近似の花押から探ることができるのか——その解析の過程と成果を展示でご紹介します。

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学経済学部附属史料館 担当：吉岡

TEL：0749-27-1046 E-mail：shiryo@biwako.shiga-u.ac.jp

令和7年度企画展
史料館新営30周年記念

令和7年

10/14^火
11/14^金

滋賀大学経済学部附属史料館1階展示室
開館時間 9時30分～16時30分
休館日 土日祝休日(ただし、11月1日は開館)

花押 × データサイエンス

— 国宝「菅浦文書」への挑戦 —

■ 関連講演会

「花押研究と菅浦文書」

11月1日(土)

13:30～ 滋賀大学講堂ホール

講師：宇佐見隆之氏

(本学教育学部教授・当館研究員)

佐藤健一氏

(本学データサイエンス学部教授)

■ ギャラリートーク

10月24日(金)・11月11日(火)

12:30～12:50 宇佐見隆之氏

10月22日(水)・同29日(水)

12:10～12:50 佐藤健一氏

毎回先着20名様まで



▲史料館HPはこちら

後援：(公財) 陵水学術後援会

滋賀大学経済学部附属史料館

〒522-8522滋賀県彦根市馬場一丁目1-1

Tel/Fax 0749-27-1046

<http://www.econ.shiga-u.ac.jp/shiryo/>

■JR彦根駅より滋賀大学直行バスで10分(西口4番乗場)

タクシーで5分、徒歩で25分

■JR米原駅よりタクシーで15分



▲場所はこちら

観覧無料

